

第1章



プロムナード基本構想とは

- 1 背景・目的
- 2 対象範囲

第1章 プロムナード基本構想とは

第1章では、「プロムナード基本構想」の策定に至った背景や目的、その対象とする範囲について示します。

1 背景・目的

「高島平地域グランドデザイン（平成27年10月策定）」では、都市再生の取組のひとつとして、「緑とにぎわい」の都市空間をデザインしたプロムナード（散策道）の整備を掲げています。

「高島平プロムナード基本構想」は、新たな時代のニーズに応え、高島平地域の都市再生を先導するプロジェクトとして、いきいきとした人々の活動が生み出されるようにプロムナードを再生していくための基本的な考え方を示すものです。

2 対象範囲

都道（高島通り）や高島平緑地を中心とする約2,700mの東西軸と、都立赤塚公園から区立徳丸ヶ原公園を結ぶ地域の中心を走る約1,000mの道路空間を中心とした南北軸から構成される十字型で示される公共空間及びその周辺を対象とします。

1 背景・目的

高島平地域のシンボルとも言える高島平団地が整備されてから約45年が経過し、地域を取り巻く社会・経済状況、人々のニーズ、ものづくりの技術等が、整備当初とは大きく変わってきています。人口増加に呼応して拡大する住宅地の環境保全のために高島通りに沿って設置された高島平緑地も、当初の緩衝緑地帯としての機能から、これからの少子高齢社会に対応した人々の健やかさと生活の豊かさを支える空間への変革を求められています。

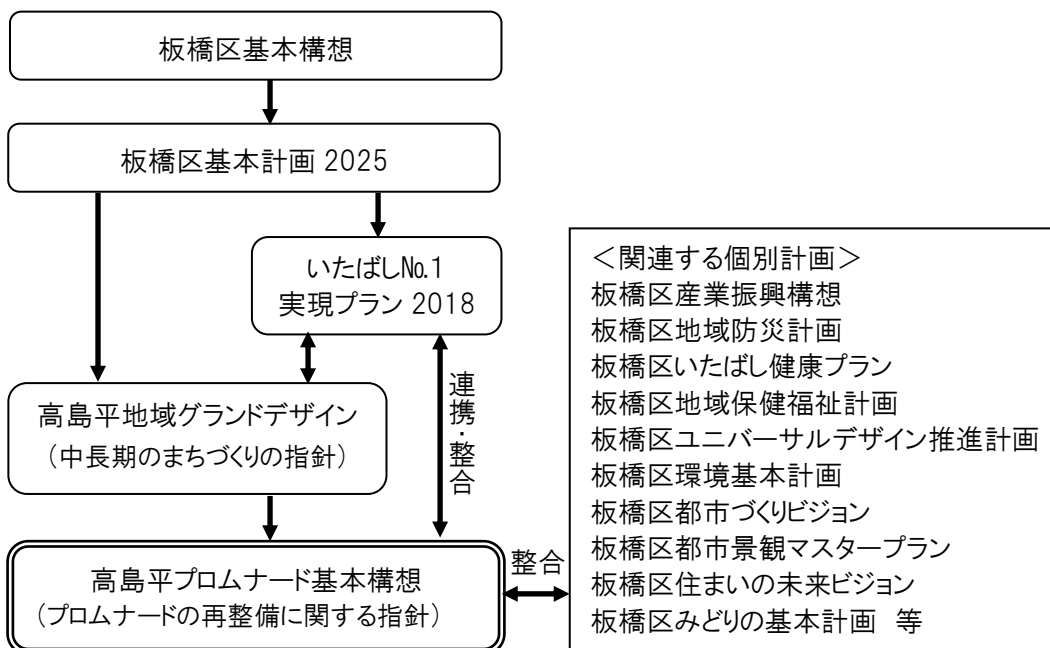
「高島平地域グランドデザイン（平成27年10月策定）（以下、「グランドデザイン」という）」では、板橋区基本構想（平成27年10月策定）で示した「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」の実現に向けた都市再生の取組のひとつとして、「緑とにぎわい」の都市空間をデザインしたプロムナード（散策道）の整備を掲げており、プロムナードは、地域内の駅を中心とした拠点や地域をつなぎ、にぎわいやうるおいを与える『都市軸』として位置づけられています。

「高島平プロムナード基本構想（以下、「基本構想」という）」は、新たな時代のニーズに応え、高島平地域の都市再生を先導するプロジェクトとして、防災的観点、ユニバーサルデザインや景観的観点等も視野に入れつつ、いきいきとした人々の活動が生み出されるようにプロムナードを再生していくための基本的な考え方を示すものです。

グランドデザインでは、プロムナード整備の目標年次を平成47年（2035年）*としており、基本構想においても、同様に平成47年を目標年次と定めています。

*平成31年に元号の変更が予定されていますが、本計画書では平成32年以降についても和暦は「平成」表記としています

高島平プロムナード基本構想の位置づけ



ランドデザインにおけるプロムナードの位置づけ(抜粋)

<基本方針のひとつ「にぎわい」創出に向けた方策や取組>

- ・地域の内外からの交流促進や利便性の高いまち

核や地域をつなぎ、にぎわいとうるおいを与える軸の形成
 ・地域内の駅や拠点、まちを連携させるプロムナードの整備
 ・地域を結ぶ歩行者・自転車利用ネットワークの形成

<整備方針>

- ・高島平緑地や鉄道高架下、団地内通路等を活用し、交流核^{※1}・生活核^{※2}や地域内の施設等を結ぶプロムナードとして再整備し、防災とも連携した都市軸として、いきいきとした人々の活動が生み出されるようにリニューアルする

歩きや自転車が調和した活動的なまちづくり
 ・地域の中心を走る南北方向の都道沿道に商業系施設・店舗の立地を誘導
 ・まちの再生と連携し、歩行者ネットワーク整備と自転車利用にも適したまちづくり
 ・コミュニティガーデン等を配置し、五感で緑とふれあえる機会の創出
 ・災害時に必要な防災トイレや備蓄倉庫等の整備や、避難者や帰宅困難者への物資や情報等の提供
 ・高島平緑地は物語性を意識した空間設計を行い、都営三田線の高架下を新たな資源と捉え、都交通局と連携
 ・高島平緑地について、維持管理のあり方や新たな活用の方法を検討

<整備方針に係るタイムスケジュール>

- ・概ね10年ごとを目安に段階的に施設整備を進める

第1期：平成27(2015)年度～37(2025)年度

- プロムナードの検討・整備
 - ・プロムナード整備に向けたワークショップ等の実施
 - ・農園・園芸やコミュニティガーデン等の整備
 - ・緑地沿道の店舗誘致
 - ・都営三田線の高架下の有効活用
 - ・緑地、緑道の再整備

第2期：平成38(2026)年度～47(2035)年度

- プロムナードの整備
 - ・ウォーキングロード・自転車道の整備

※1：にぎわいや交流機能、生活利便性を高め、地域の物語発信の中心となる拠点のことであり、ランドデザインでは、高島平駅周辺

※2：日常生活のサポート機能等、駅を中心とした利便性の高い拠点のことであり、ランドデザインでは、「西台駅」、「新高島平駅」及び「西高島平駅」周辺

高島平プロムナード基本構想の計画期間

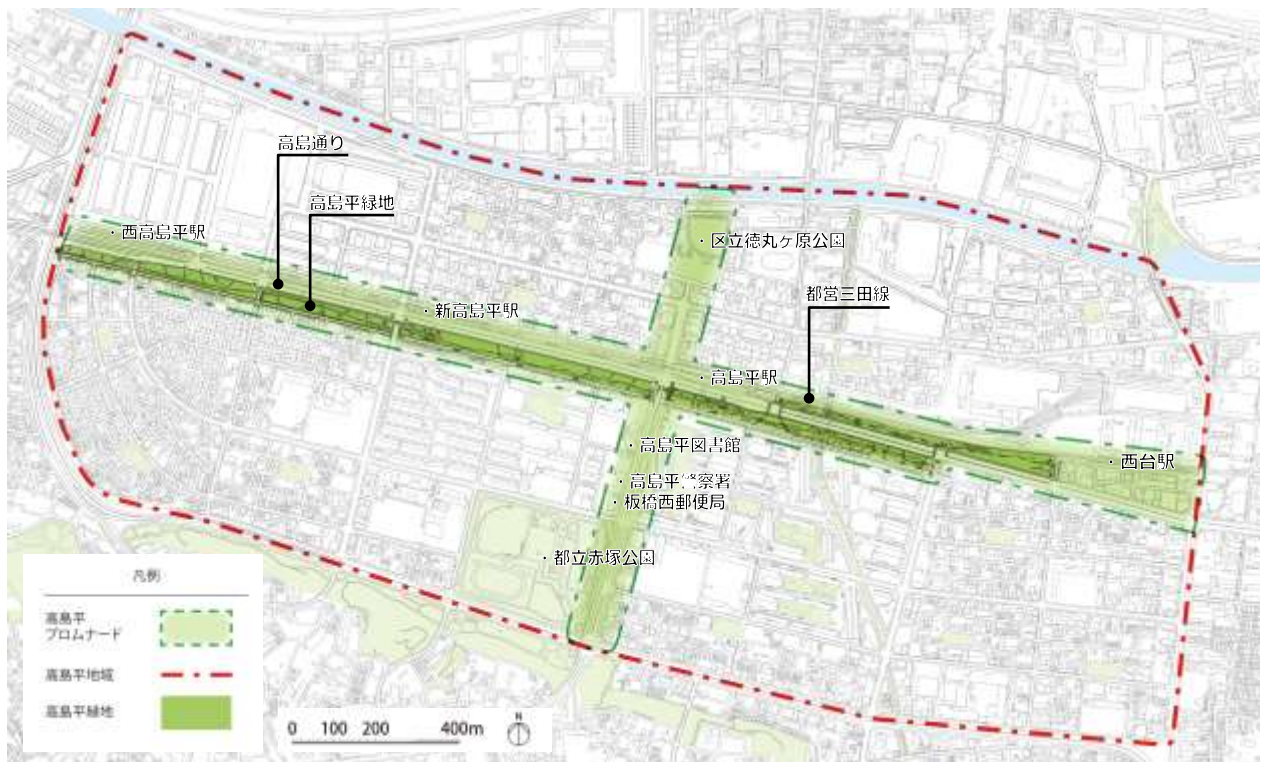
平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	...	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	...	平成37年度 (2025)	平成38年度 (2026)	...	平成47年度 (2035)	
前基本構想			板橋区基本構想				次期基本構想			
前基本計画			板橋区基本計画 2025				次期基本計画			
未来創造プラン			いたばしNo.1 実現プラン 2018		中期・後期実施計画			次期実施計画		
高島平地域ランドデザイン (平成27年から概ね30年先までを見据えた中長期のまちづくりの指針)										
高島平プロムナード基本構想										

2 対象範囲

基本構想におけるプロムナードとは、東西に約 2,700m、南北に約 1,000mの東西軸及び南北軸から構成される十字型で示される公共空間及びその周辺を対象とします。

東西軸には、都道（高島通り）や高島平緑地とその沿道の区道、都営三田線（西台駅～西高島平駅）の高架下及びその沿線の区道が含まれ、地域交通の要であると同時に、豊かな緑地帯となっています。

南北軸は、都立赤塚公園と区立徳丸ヶ原公園を含む、高島平地域の中心を南北に走る都道及び区道の道路空間とその沿道が対象となり、図書館、警察署、郵便局等の公共・公益施設が立地しています。



高島平プロムナード対象範囲